

# 大いちょう

令和6年5月3日  
岐阜市立加納幼稚園  
園長 藤井 佐由美

## 入園・進級して1か月が経ちました！

3歳児：ひまわり組やちゅうりっぷ組の子ども達は、比較的、保護者との離れ際に泣く子が少なく、遊びを楽しむ姿が見られます。昨年度から、3歳児補助の先生の勤務がシフト制になったことで、メリットとして、4月中は、それまでと比べて教師が1人多い状態に対応でき、個々の子どもの要求に応じやすくなっていることも影響しているのかもしれませんが。（4月末からは、2時間と3時間のシフト交代制となっております。）

もちろん、集団生活をするのが初めてという子ども達がほとんどのため、自由でマイペースな姿や、自分の思いをうまく伝えられずに思わず手が出てしまう姿や保護者との離れ際に泣いたり離れがたかったりする姿などがあります。これまでは、家庭という守られた場所での生活から、集団生活という社会に出て、「何でも自分のもののはずなのに…」、「もっと遊びたいのに、なんでやめなくちゃいけないの?」、「先生、ずっと僕のことだけ見ていてよ。」、「もっと自由にさせてよ。」などという、子どもなりの「こんなはずじゃなかった。」場面での葛藤がいくつかあるのでしょうか。どれも3歳児の素直な子どもの姿だと思います。一人一人の発達やペースが大きく異なる年齢でもあります。楽しい関わりも、ネガティブな関わりも、子どもにとっては両方必要な経験です。家庭では経験できない先生や周りの子どもとの出会いの中で、一つ一つを大切な学びの機会としていきたいと考えております。自分の思いを表現できる子どもは、少しずつ自分とは異なった思いをもつ相手の存在に気付いて、関わり方を知ることが大切です。「困ったなあ。」、「いやだなあ…」と思うことを伝えづらい子どもは、少しずつ大人に表現できるように、教師との信頼関係を基盤に力を付けていくことが必要です。

教師が十分に対応できていない場面もあり、保護者の方にご心配をおかけすることもあると思います。どうぞ、お気軽に担任や主任、教頭、養護教諭、園長などにご相談ください。



4月の後半は、5歳児：いちょう組とさくら組の子どもたちが3歳児：ひまわり組とちゅうりっぷ組それぞれペアクラスにて、新入園児歓迎会を実施しました。5歳児にとっては、年長になって初めて自分たちで企画・運営をする行事のため、私達教師は、子ども達にとって満足のいく経験にしたいという願いがありました。そこで、もともと日にちが設定されていたのですが、子ども達の様子を見て、

もう少し期間にゆとりをもって実施しようということになりました。

5歳児は、「どんなことをしたら3歳児の子どもたちが喜んでくれるのか?」、「自分たちは、これまで上級生にどんなことをしてもらったのか?」、「どんなことをしてあげたいのか?」などを、『こども会議(子どもと大人が輪になって一緒に考えて考える時間)』で話し合うことにしました。すると、各クラス、「優しくしてあげたい。」



「一緒に遊んであげたい。」、「わかんないことを教えてあげる。」、「よしよししてもらった。」、「かくれんぼしてくれた。」、「うたを聞かせてあげる。」、「プレゼントしてあげたい。」、「何か作ってあげたい。」などの意見が出ました。まず、どの子が自分のペアの子どもなのか、どんなタイプの子どものか、どんな遊びが好きなのかなどがわからないと一緒に遊べないし、『何かをしてあげたい』という気持ちも生まれにくいということになり、それぞれリサーチをすることになりました。でも、初めは小さい組とは言え、他のクラスに堂々と入っていけるほどの勇

気もなく、廊下から見ている…という日々が続きました。部屋の中まで入れたとしても、一步踏み込んで声をかけるには勇気が必要でした。しかし、そんな中で、『こども会議』を繰り返すうちに、「ブランコは先生が押していた。」、「砂山にのぼっていた。」、「バイクを選んでいた。」、「ダンゴムシが好きみたい。」などのリサーチ結果が報告されました。



その結果、さくら組は、①一緒に好きな遊びをする ②ダンスをする ③一緒に歌を歌う ④ダンゴムシをプレゼントするという4つのお楽しみを実施し、いちよう組



は、第1弾として、①好きな遊びを一緒に遊んであげる ②歌と一緒に歌うという2つのお楽しみを実施しました。実際は、一緒に遊ぶ活動の中に、鬼ごっこや砂場遊びなどがあり、遊んでいる間についてい3歳児を置き去りにして走ってしまったり、自分たちが楽しくなってしまう…という場面もあったのです。しかし中には、小さい子に優しくしたくて帽子をかぶせようとしたり、靴下を脱がせようとしたりと奮闘する様子も見られました。うまくいかな

いことも含めて、自分たちが何日もかけて、グループやクラスで相談し、考えて決めたことを実行した後の『こども会議(振り返り)』では、「一緒に遊んで楽しかった。」、「声をかけたら座ってくれて嬉しかった。」、「手をつないであげたのがよかった。」、「嬉しそうに笑ってた。」、「〇〇ちゃんの嬉しい顔を見たら、嬉しくなった。」、「ダンゴムシをもらってくれて嬉しかった。」、「泥んこやってるちゅうりっぷの子の笑顔がかっこよかった。」、「怒っているような顔の子もいたけど、ダンゴムシが好きじゃなかったのかも…」





など、やってみて感じたいろいろな感情を表現し、分かち合うことができました。



その後、まだ、ひわり組の担任の先生が、困っていることがあるらしいということを聞きたいちよう組の子ども達は、「ひわり組の子ども達に、幼稚園の危ない場所やことを教えてあげたい。」と思うようになりました。再び、『こども会議』をした結果、「思い出の森は、一人で行くと危ないよ。」「ムカデがいるから気を付けて。」「小学校まで行っちゃうと困るよ。」「緑の門からは、出ない方がいいよ。」などのことを伝えたいということになりました。そこで更に、「でも、

まだひらがなもカタカナも読めないよね。」「危ないマークを付けたらいいんじゃない?」「写真で知らせたら?」「絵に描いたらわかるんじゃない?」ということになり、絵とマークと文字で、カードを作り始めました。これについては、連休明けのひわり組の子どもたちがみんなそろっているときに、第2弾として実施する予定だそうです。

一つの企画・運営を子どもたちに任せてみることを通して、イメージしていることと実際にやってみることで、違いがあることや、そううまくはいかないこと等を実体験でき、本当の意味での3歳児との関わりを深めることとなったのではないかと考えま



す。

これからも何度も何度も『こども会議』を繰り返し、一人の意見や考えが共有され、新しい考えが生まれたり、さらに深く考えたり、実施したりしながらきっと5歳児の子どもたちは、試行錯誤を繰り返し、探究心や創造力が育まれていくことと思います。3歳児や4歳児の子どもたちも、5歳児の姿を見て憧れたり、同じように挑戦してみたくなったり、対等に張り合おうとしたりしながら大きく育っていくことと思います。温かく丁寧な異年齢交流となり、嬉しい数週間でした。



## 《5月の保育目標》

### 【3歳児】

- 先生と一緒にいろいろな場所や遊びに興味関心をもつ。
- 幼稚園生活のリズムが少しずつ分かり、先生と一緒に身の回りのことをしようとする。

### 【4歳児】

- 先生や友達と一緒に生活する中で、自分の身の回りのことを自分で行う。
- いろいろな遊びに関心を持ち、友達や先生と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

### 【5歳児】

- 年長児としての自覚を持ち、自分たちの生活に楽しんで取り組む。
- 友達と誘い合って、戸外で思い切り体を動かすことを楽しむ。



## お知らせ・お願い

毎週、通信を配信しております。お知らせやお願いなどがたくさんありますので、スマート連絡帳やホームページ等で確認していただきますようお願いいたします。

### ☆5月9日(木)「PTA総会」等について

9:20~10:20 PTA総会

10:30~11:00 夏服販売(4歳児、4・5歳児新入园児)

麦わら帽子販売(3歳児・4歳児)

\*託児はありませんが、会場内に子どもが遊べるスペースを作ります。保護者の方の目の届くところで遊びながらご参加ください。

### ☆5月24日(金)「加納幼稚園 幼稚園説明会」について

10:00~11:00 加納幼稚園2階遊戯室にて開催します。

ご近所に未就園児(0, 1, 2歳児)のお子さんがいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください。もし、幼稚園説明会の案内等を近隣や民間施設(小児科やスーパー等)に配布していただける方は、職員室までお声かけください。

### ☆保護者の名札の着用について

登降園時や幼稚園に来園されるときは、保護者用の名札を必ず着けてください。送迎の方が代わる場合も、お配りした「保護者用の名札」を、記名してお使いください。

### ☆預かり保育(ちいさなおうち)について

3歳児のお子さんも、少しずつ落ち着いてきました。3歳児を含め、4歳児、5歳児のお子さんも、預かり保育(ちいさなおうち)をご希望の方は、申込書と緊急連絡先をご提出ください。原則、前月の20日までに、教頭までご提出ください。

今後、利用者が増えたときには、就労などの方を優先させていただくことがあります。